

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公共交通利用促進事業（公共交通担当）	事業番号	017-018
担当部署名	建築都市 局 交通 部	公共交通担当	課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
		有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑭住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3	
		有	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	—						
3	事業開始年度	平成 4 年度	点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市公共交通利用促進事業（おでかけ応援バス）実施要領 堺市バス利用促進等総合対策事業補助金交付要綱						

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民・路線バス利用者（おでかけ応援バス対象者数：65歳以上の堺市民約23万4,698人（令和2年度末））
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	バスの利用促進や利便性向上につながる取り組みを実施することにより、バス交通の維持・活性化を図ることを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>1. おでかけ応援バス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満65歳以上の市民が路線バス(南海バス・近鉄バス)を1乗車100円で利用できるおでかけ応援バスを実施。</li> </ul> <p>2. バス利用促進等総合対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス事業者が行うノンステップバスの導入など、公共交通の利便性の向上や利用促進につながる取り組みに対して補助を実施（令和2年度は地方創生臨時交付金を活用し、7両の補助を実施）。</li> </ul> <p>3. 地域における利用促進等の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農芸高校と美原高校の新入生向けのバス通学案内「バス通学のすすめ」を配布</li> <li>・バスの路線図や乗り方等を掲載した「バスの乗り方ガイド」を区役所の市政情報コーナー等で配布</li> <li>・美原区内の公共施設、民間施設等でバスロケーションシステムの紹介チラシを掲示</li> </ul>
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	南海バス株式会社、近鉄バス株式会社
10	公民連携・協働事業	—

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 おでかけ応援バスの延べ年間利用者数（ICカード移行後）	人	目標値	5,753,561	5,844,070	4,609,295		
		実績値	5,723,858	4,609,295			
		達成率	99%	79%			
当該指標を選定した理由		延べ年間利用者数が高齢者のバスの利用状況及び外出状況を把握できることから成果指標とする。					
目標値の設定根拠・算出方法		コロナ禍によるバス利用者の減少を考慮し、前年度実績と同水準の利用者数。点検年度については、コロナ禍前（平成元年度）の利用者数					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
12 ノンステップバスの導入率	%	目標値	36	40	48		
		実績値	38	47			
		達成率	106%	119%			
当該指標を選定した理由		すべての人が利用しやすいノンステップバスの導入率を上げることで利便性向上を図ることができ、利用促進につながる。					
目標値の設定根拠・算出方法		前年度のノンステップバスの保有台数とバス事業者の導入予定台数を元に算出					

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	公共交通利用促進事業（公共交通担当）	事業番号	017-018
-------	--------------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

事業コスト		(単位：千円)				
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	411,887	433,784	461,925	349,986	457,559	
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ( )					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	411,887	433,784	461,925	349,986	457,559	
14 人件費 (b)	10,660	10,530	11,480	11,480	11,480	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	422,547	444,314	473,405	361,466	469,039	

事業費の内訳		(単位：千円)							
項目	年度	事業費	うち		項目	年度	事業費	うち	
			一般財源					一般財源	
16 事業費内訳	おでかけ応援バス事業負担金	R2 決算	349,647	349,647		R2 決算			
		R3 予算	457,092	457,092		R3 予算			
	バス利用促進等総合対策事業補助金	R2 決算	0	0		R2 決算			
		R3 予算	50	50		R3 予算			
	消耗品費	R2 決算	0	0		R2 決算			
		R3 予算	4	4		R3 予算			
	印刷製本費	R2 決算	339	339		R2 決算			
		R3 予算	408	408		R3 予算			
	通信運搬費	R2 決算	0	0		R2 決算			
		R3 予算	5	5		R3 予算			

### Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和元年度	令和2年度
17	①	おでかけ応援バスの延べ年間利用者数	人	5,723,858	4,609,295
	②	上記①にかかる年間経費	千円	430,144	349,647
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	75	76
備考 (算出についての説明等)					

### Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、おでかけ応援バスの利用者が大幅に減少したが、市の負担金も減少したため単位当たりの経費は例年並みとなった。</p>
<p><b>KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）</b></p>	
19	<p>・地方創生臨時交付金を活用し、車内の感染防止策に対する補助を実施するとともに、令和2年10月から12月の期間限定でおでかけ応援バスを無料で利用できる事業を実施し利用者増加に努め、公共交通の利用促進を行った。 また、交付金を活用して、ノンステップバスの導入（7両）に対して補助を行い、より利用しやすい環境整備を行うことができた。</p>